

森口朗著「戦後教育で失われたもの」アスキー新書 2005年8月20日刊を読む

- 1．共同体意識が最も高まるのは祭です。あの一体感をあらゆる場で体感することは、極めて重要です。
- 2．人は共同体のためなら無償で働きます。
- 3．同様に子ども達も文化祭、体育祭のためなら必死になって、先生に叱られるまで学校に残って働きます。こういう経験を何通りもさせることで、現代人が複数の共同体に所属して暮らしていることを実感するでしょう。
- 4．学校の祭、地域の祭、有志の祭にその共同体の構成員として参加し、一定の責任を受け持つこと。これは「大人」への大きな一歩になるはずです。

[コメント]

共同体意識を持ち自らの責任を自覚し行動することは、社会の一員として大切なことと考えます。そのために祭などへの参加はとてもよい勉強になると私も考えます。

- 2009年3月31日林明夫記 -